

**熱帯医学・グローバルヘルス研究科博士後期課程 グローバルヘルス専攻  
研究指導計画**

研究指導方針・体制・方法	<p>博士後期課程では、リサーチワーク主導型の教育課程を編成している。グローバルヘルスという学際的領域を対象とすることから、副指導教員として主指導教員とは別の分野を専門とする教員2名を配置し、計3名の教員による共同指導体制（チーム型研究指導）を構築する。</p> <p>出願者は研究科HPを参考に、指導を希望する教員に相談の上、研究テーマ等も合わせて内定をもらうこととし、出願時に提出する。「研究計画書」に指導教員氏名を記載して提出することで、合格後の指導教員が確定する。</p>
研究目的・到達目標	<p>主研究指導教員の指導のもと、副指導教員とのディスカッションをもち、系統的文献レビューを行い、グローバルヘルス研究として十分に独創性と科学的妥当性を有し、実施可能な研究計画を立案する。また、プログレスモニタリング1の後に博士研究資格審査（Qualifying Examination(QE)）を受審し、博士後期課程の質を保証のうけ、その後も適切なプログレスモニタリングにて確認を行いつつ、主指導教員を中心に、副指導教員や外部アドバイザーも参加しながら、研究計画に基づき研究を遂行し、博士(グローバルヘルス)の学位に相応しい科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた学位論文（ティーズ形式）を作成する。</p>
研究指導内容	<p>研究計画に照らして、グローバルヘルス分野の健康課題にソリューションを生み出す研究が必要である。そこで、研究テーマについての先行研究の探索に加えて、参考文献、参考資料、データなどのフィールドワークを含む研究指導を行なう。</p>
研究指導計画、学位論文指導・作成のプロセス	<p>学生は、研究の進捗状況を管理する目的として、在籍期間を通してプログレスモニタリングを受ける必要がある。プログレスモニタリングについては、学生が主体となって日程等を調整し、学生と研究指導チームは進捗状況をコーディネーターへ報告する。</p> <p>①プログレスモニタリング1 研究課題、研究方法及び研究計画書立案の進捗状況、プロジェクトデザインの理解度と関連する文献レビューの確認及びQE実施予定日等に関する協議を行う。</p> <p>②QEの受審。</p> <p>③プログレスモニタリング2 研究タイトル・研究分野及び研究資金の確保状況に確認、倫理審査の申請状況等に関する協議を行う。</p> <p>④プログレスモニタリング3 学位論文の進捗状況及び提出日変更の有無。</p> <p>⑤研究プロポーザルの作成を指導する。</p> <p>⑥学位論文の提出に必要な情報やデータの収集を指導する。</p> <p>⑦博士論文の最終試験に対する準備を指導する。</p>
学位論文審査体制・審査方法・評価基準	<p>主査1人、副査2人を選任して審査に当たる。主査、副査1は予備審査として提出された博士論文を読み、スコアリングを行う。その後の口頭発表会及び質疑応答により最終試験を行い、予備審査会で作成された合否判定案に基づいて、教授会が最終決定を行う。</p>
最終試験の評価方法・評価基準	<p>最終試験は、審査委員3人が論文を中心として、これに関連ある項目について、口頭または筆答により行なう。</p>